

学外発表学術論文及び国際会議発表論文，著者一覧表 (vol. B)

太字 学内者

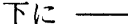


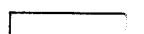
学術論文

三木恒治：テイクの Naturmärchen について ―相反する世界の問題―，岡山大学
独仏文学研究. **第6号**, 149-158 (1987).

岡山理科大学紀要投稿規定

- (1) 岡山理科大学紀要には同大学の常勤の教員または職員が研究した他誌に未掲載の学術論文を掲載する。
- (2) 投稿は代著者1人につき原則として年1編とする。共著の場合は岡山理科大学の常勤の教員または職員、および共著者の1人である同大学大学院博士課程に在籍中の学生または在籍したことのあるものを代表著者とし、他の著者はその身分を明記する。代表著者とは論文の筆頭著者を指す。
- (3) 紀要は原則として年1回、A 自然科学、B 人文・社会科学の2分冊として発刊する。投稿しようとする者は、論文題目と掲載を希望する分冊A、Bのいずれかを指定して、7月末日までに紀要委員会に申し込む。原稿の投稿締切日とその年の9月16日とする。
- (4) 紀要委員会は投稿された論文について採否を定め、その決定を受理日とする。
- (5) 提出論文には原則として英語、独語、仏語などの主要外国語のいずれかによる表題、著者名および150語以内の摘要をつける。

ただし主要外国語で書かれたものは、その必要がない。
- (6) 原稿は原則として所定の用紙に清書する。欧主原稿の場合には必ずタイプライターを使用する。
- (7) 掲載論文は原則として1編刷り上りで10ページ以内とする。
- (8) 原稿はコピーでなく原文にかざる。
- (9) 校正はすみやかに行なうこととし、内容および図などの変更や追加は原則として認めない。
- (10) 別刷は論文ごとに30部を無料配付する。増冊分の費用は申し込み者負担とする。希望増冊部数は紀要委員会に申し込む。
- (11) その他
 - a) 参考文献や引用などは本文中に1, 2), 3~5)などの記号をつけて、論文の末尾にそれらをまとめ記載する。
 - b) 論文中の特殊な活字については、次の要領に従って赤色で指定する。

活字の種類	記号
イタリック	下に  または イタ
ゴチック	下に  または ゴチ
ゴチック・イタリック	下に 
立体文字	上に  または 立体
大文字	⊕ または 大文字
小文字	⓪ または 小文字
ギリシャ文字	⊕
suffix {	V または 上つき ^ または 下つき
上つき	
下つき	

- c) 数式はイタリックで組むから、特殊なもののみを指定すればよい。
- d) 掲載する図の大きさは、横 3 cm, 6 cm, 9 cm, 12 cm(縦はいずれも18cm以内)の4種類を原則とする。

原図は原則として所定の用紙、あるいはこれと同じ大きさの白紙または青色方眼紙に著者が1枚ごと製図する(原図そのまま縮小掲載される)。図中の文字はうすく鉛筆描きする。
- e) 写真は原則として所定の用紙と同じ大きさの台紙にはる。写真の大きさは刷り上りとほぼ同じであるのがよい。
- f) 図は写真とともに通し番号(たとえば図1, 図2, ……), 著者名, 図の横の長さを右上に鉛筆で記入する。
- g) 表には通し番号(たとえば表1, 表2, ……)をつける。
- h) 図, 写真, 表の本文中の位置は原稿の右端に赤色で記入する。
- i) 図, 写真, 表の説明文は別紙にまとめる。

(昭和62年1月20日 教授会承認)

岡山理科大学紀要 B (人文・社会科学)

昭和62年10月10日編集
昭和63年3月1日印刷
昭和63年3月20日発行

発行者 加 計 勉
岡山理科大学紀要委員会
(代表者 赤尾 文雄)

発行所 岡 山 理 科 大 学
〒700 岡山市理大町1-1
電 話 0862-52-3161(代)

印刷所 友野印刷株式会社
〒700 岡山市高柳西町1-23
電 話 0862-55-1101(代)
